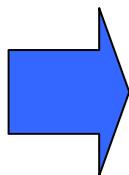


# 理学療法だより Part1

平成 19 年 4 月

今回は当院の理学療法室にあります Functional Reach テストと重心動揺計を紹介します。  
これらはバランス機能・能力に対する検査機器であり、多くの患者様に実施しています。  
主観的な検査だけでなく、数値化できる検査機器を使用することで効果判定が客観的に可能となります。最新医療機器を使用し、理学療法を実施することで患者様によりよいサービスを提供していきたいと考えています。

【FR】 目的: 動的姿勢コントロールの評価。繰り返し転倒することの危険性を把握し、経時的な臨床的变化を評価する。



数値を確認し、  
立位バランスをチェックします。  
年齢別に参考数値と比較し、  
バランス能力の評価に使用します。

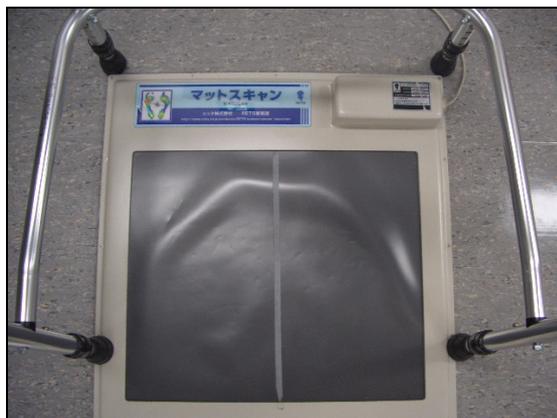
## 【重心動揺計】

直立姿勢に現われる身体動揺を重心の動揺として捉え、記録・分析して身体平衡の維持に働く系や中枢神経系の機能を検査するものです。

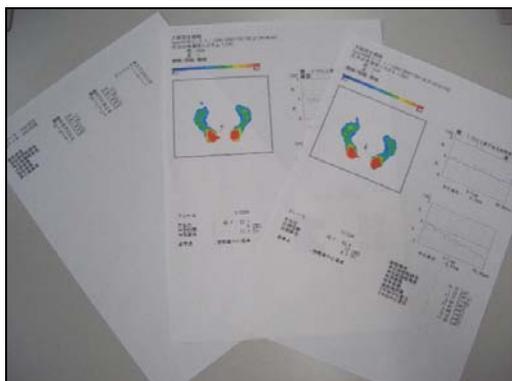
### <測定風景>



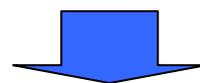
### <マットスキャン>



### <記録用紙・検査データ>



検査結果にて得られた測定数値・重心の位置や足底圧などをプリントアウトし、平均数値と比較します。



### <重心動揺の参考値データ>

年齢	男性(n=1,013)				女性(n=1,188)			
	面積	半径	軌跡長	軌跡長	面積	半径	軌跡長	軌跡長
0~4	21.21	31.38	150	228.61	18.98	22.92	127.92	175.18
5~9	16.11	26.66	120.95	179.71	13.27	19.61	112.83	158.69
10~14	10.76	16.62	95.52	126.6	9.72	13.55	86.61	118.63
15~19	10.51	13.7	84.79	115.59	7.27	10.41	72.13	95.74
20~24	6.26	8.31	71.02	97.06	6.47	8.64	67.47	89.25
25~29	6.8	10.6	78.7	112.7	6.46	8.19	67.65	91.39
30~34	6.78	8.97	74.01	109.99	5.19	7.37	64.24	84.38
35~39	6.38	9.44	77.13	108.43	5.87	7.56	69.48	97.67
40~44	7.93	12.41	82.69	125.25	5.94	7.95	63.79	88.01
45~49	7.42	12.19	80.65	120.99	6.38	8.15	70.2	104.56
50~54	7.86	11.53	86.32	131.73	7.35	9.54	74.03	102.47
55~59	6.56	9.63	96.25	144.52	7.77	10.28	78.93	109.02
60~64	9.46	13.41	102.32	145.01	8.67	11.51	83.29	116.61
65~69	10.99	15.16	109.89	162.14	9.23	12.32	87.88	124.02
70~74	11.65	19.54	118.38	202.85	11.98	14.75	101.26	128.9
75~79	11.5	17.85	113.01	150.79	11.53	15.58	105.93	134.46
80~84	11.29	14.88	132.34	194.84	10.8	13.15	112.97	133.29
85~89	14.81	18.45	132.92	201.01	11.64	18.79	137.92	166.11

※測定条件: 60秒間・閉足位  
 今回調査: 重心動揺検査における健康者データの集計, Equilibrium Res(Supp)12:1-84, 1997

平均数値とどのくらい差があるのか。どういう方向に転倒しやすいか。また、どういうバランスのとり方をされているのかなどをご説明させて頂き、理学療法評価の一手段として使用しています。

作成者:リハビリテーションセンター 理学療法士